

《担当者名》 明野聖子 [naga-s@hoku-iryo-u.ac.jp] 表山知里 [omote_22@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

人々が生活する地域を単位として、公衆衛生看護活動の展開に必要な情報を収集し、多角的アセスメントを行い、地域の顕在的・潜在的な健康課題を見出す方法を学ぶ。健康課題の解決に向けた地域を対象とした支援計画を立案し、方策を開発するための基礎的能力を習得する。

【学修目標】

- 1) 地域を対象とした支援、地区活動の目的、プロセス及び支援に関する理論を理解し、活用できる。
- 2) 地域の人々の生活と健康課題を多角的な視点から情報収集、アセスメントし、顕在的、潜在的な健康課題を見出すことができる。
- 3) 地域組織および地区・小地域を支援する方法を理解できる。
- 4) 地域ケアシステムを構築するための方法を理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 公衆衛生看護における地域アセスメント	オリエンテーション 公衆衛生看護過程、公衆衛生看護活動における地域アセスメントの目的	明野
2	地域アセスメントの活用(1)	地域の概要とコアに関する分析	明野
3	地域アセスメントの活用(2)	地域のサブシステムに関する分析	明野
4	地域アセスメントの活用(3)	健康課題の明確化 母子保健	明野
5	地域アセスメントの活用(4)	健康課題の明確化 成人保健	表山
6	地域アセスメントの活用(5)	健康課題の明確化 高齢者保健	表山
7	地域アセスメントの活用(6)	健康課題の明確化 精神保健領域および難病保健、感染症保健	明野
8	地域アセスメントの活用(7)	地域アセスメントと地区踏査計画	明野、表山
9	地域組織活動の展開(1)	地域組織活動の実際	明野
10	地域組織活動の展開(2)	地域組織活動の実際	明野
11	地域組織活動の展開(3)	地域組織活動の実際	明野
12	地域組織活動の展開(4)	地域組織活動の実際	明野
13	地域組織活動の展開(5)	地域組織活動の展開と保健師の役割 地域組織活動の実際をもとに、学生のプレゼンテーション・討議を通して、地域組織活動の展開と保健師の役割について学ぶ。	明野
14~15	地域ケアシステムの構築	地域ケアシステムの構築と保健師の役割 臨地実習 の実習地域を対象とした健康課題を解決するための地域ケアシステムの構築と保健師の役割について、学生がプレゼンテーション・討議を行う。	明野、表山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーション(40%)、ディスカッション(30%)、課題レポート(30%)により評価する。

【教科書】

佐伯和子他編著：公衆衛生看護学テキスト 第2巻 公衆衛生看護の方法と技術、医歯薬出版株式会社
佐伯和子編著：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド、医歯薬出版株式会社

【参考書】

岸恵美子他編著：保健学講座 公衆衛生看護支援技術、メヂカルフレンド社
岡本玲子他編著：公衆衛生看護学テキスト 第3巻 公衆衛生看護活動、医歯薬出版株式会社
CBPR 研究会著：地域保健に活かすCBPR コミュニティ参加型の活動・実践・パートナーシップ、医歯薬出版株式会社

【備考】

Google Classroomを活用して課題や資料を提示する。

【学修の準備】

- 1) 提示された課題を実施する。
- 2) 指定された教科書および文献は、授業内容および学修課題に沿って熟読する。
- 3) 地域組織活動への見学・参加時には、活動の内容を確認し、見学・参加時の学修目標および視点を明確にして臨む。

【学修方法】

1回目は講義、2～8回は学生がプレゼンテーションを行い、教員がコメントする。9～11回は地域組織活動に見学・参加し、見学・参加を通して学んだ地域組織活動の展開と保健師の役割について学生がプレゼンテーション・討議を行い教員がコメントする。13回～15回は学生によるプレゼンテーション・討議を行い教員がコメントする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。